ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2026年1月1日

1月 287号

奈良・人と自然の会

新しい年に向かって疾走　（さあみんなで走っていこう）

Contents

ホームページではカラーで見ることができます

URL http://www.naranature.com

あけましておめでとうございます	1	入会して１０年	8
ならやまプロジェクト	2	きょうみ森森	9
Monthly Repo　ならやま	3	海外ボランティア体験記（パナマ）－1	10
里山の今（里山、果樹）	4	ならやま投句箱	11
新そば祭りレポ	5	行事案内、奈良学クイズ	12
月例研修会レポ (晩秋の龍田古道・亀の瀬地滑り歴史資料室)	6	幹事会報告、こもれび、会員動向	13
芋煮会レポ	7		

明けましておめでとうございます

千載 輝重

昨年の門松

昨年は過去最高の酷暑を記録するなど大変な気象状況の中でしたが、計画した活動・イベントの遂行に加えて追加された諸事にも大過なく対応することができました。会員の皆さんのご協力に改めて感謝申し上げます。

昨年の漢字は「熊」。ならやまにはまだ出没していませんが、近隣では目撃情報がたくさんあります。自然との共生、生き物との共生を謳う私たちですが、鹿との共生にも悩む中で利害反する他の生き物との共生はなかなか難しいものだと感じます。ヒト同志が共生するのでさえ拒否するような争いが絶えない世界を見ると、「なぜ？？」と寂しくなります。

共生するための原点は何なのでしょう。それは「足りる」にどこまで譲歩するか、でしょうか。でもヒトは新たな発見や未知の世界に冒険を挑んで征服しようとする遺伝子を持っているそうで、それに権威欲などが加わると際限がなくなるようです。

私たちはどこを「足りる」とするのでしょうか？　平均年齢喜寿を過ぎ、ぼちぼち足りてもいいような気がします。でも、権威欲の欠片もない私たちはまだまだ何かを求めたい気もします。私たちの活動は、新しい年を迎えて、また新しい発見・楽しみを見つけることができるでしょうか？　ぜひともまだ「足りない」気持ちで新たな取り組みもできればいいなと思います。そして迷いよりも一歩踏み出すことが流れを生み、新しい展開につながる年になるよう願っています。

丙午は、十干の「丙」が表す太陽のような明るさと情熱、そして十二支の「午」が象徴する前進力と行動力が重なる。そのため、丙午の年は、心の内にあった思いや構想を表に出し、実際の行動へと移しやすい力強い年だといわれる。また、火の気が強い丙午は、停滞していた物事に新しい流れを生み出し、状況を一段階前へ押し上げるエネルギーを持つとも考えられ、迷い続けるよりも、まず動いてみることで道が開け、周囲との関わりや可能性が自然と広がっていく、そのような前向きな変化が起こりやすいとされる。

歴史を振り返ると、丙午の年は社会や時代の流れが大きく動いた節目として、変化や摩擦が表に出やすい一方で、新しい方向性が定まり、次の時代への基盤が形づくられてきた。（1846 年：幕末に向かって停滞していた体制が揺らぎ始める。1906 年：日露戦争後、近代日本が本格的に動き始める。1966 年：高度成長と産業構造変化、学生運動、出生減など社会全体が拡大・摩擦・変化。）

かつては丙午に対して強い印象が語られることもあったが、現代においては、それを「情熱を建設的に使い、行動によって成果へと結びつける年」と捉えることができる。大切なのは勢いに任せることではなく、自分自身の目標や信念をしっかりと持ち、そのエネルギーを正しい方向へ向けていくことである。

ならやまプロジェクト

**明るく・楽しく・無理をせず
あなたも私も・力合わせて**

寒波襲来でテントが壊された初出でスタートした今年も終わろうとしている。思ったより秋は長く留まってくれてならやまの黄葉もゆっくり楽しむことができた。好天続きでそば祭り、芋煮会も盛況・好評、18 日には有志手作りの様々な飾りをつけた干支が勢ぞろいした。それぞれお世話にいただいた方に心から感謝。

今年は機器の老朽化による思わぬ修理費用が発生したが、ケガは少なくて良かった。それでもヒヤリとするようなことは多かったと思われる。この時期は雑草もおとなしく、作業負荷も軽減されており、ゆったりと活動を楽しむことができるが、高齢化している中で改めて安全には注意して、皆元気に新年を迎えたい。

いっぱいに実をつける南天と甘夏ダイダイは早くもお正月気分にさせてくれる。

おもてで存在感を示している甘夏と、BC の裏でここにも見に来て、といっぱいの実をつける南天（12 月 11 日）

１月の活動特記事項　活動日：8（木），15（木），22（木），29（木）

１月８日（木）：初出（餅つき）、10 年継続会員記念植樹

１月の各グループ活動予定

グループ	活　動　予　定
里　山	コナラ玉切り（薪材、楷木材）、枝葉のチッパー処理 シイタケイベント植樹準備、薪割り、門松片付け
エコファーム	畑の整備、豆類誘引、野菜の収穫 水田の整備（土入れなど）、鹿害予防ネットの整備
景　観	整備：竹林整備 ビオ：池・水路の景観保全・整備、タナゴ生育状況定期調査 花：　山野草園・駐車場横花壇の草引き
パトロール	1～3 コースパトロール、観察路整備
果　樹	レモンや甘夏の収穫、果樹の剪定と施肥 実りの森土壌改良、果樹の講習会

活動日：毎週木曜日　9：00～15：00
前日の 17 時発表の気象庁予報（NHKTV（奈良）19 時前放送）の天気予報で、奈良県北部の午前中の降雨確率 60%以上の場合は翌日に順延、翌日も同予報であれば中止。

Monthly Repo.　ならやま

冨井 忠雄

11 月 27 日（木）晴れ　75 名＋近大生３名

そばクラブが中心となり、各Ｇも参加して新そば祭りを行い、そば、蕎麦がゆ、天ぷら、焼き芋などを提供。

里山ＧはNo.４区画の部分皆伐、シイタケの収穫、薪割り、遊びの森の遊具の片付け。エコＧは大根、ネギ、サツマイモ、里芋の収穫など。景観Ｇはそば祭りの手伝い、竹林整備。花班はBC の花壇の草引き。ビオ班は近畿大学の田貝の定期調査と西池北の湿地の葦刈り。パトロールＧはそば祭りの手伝い、観察路１コースのパトロール、観察路整備、自然工作の材料集め。

果樹Ｇはそば祭りの手伝い、レモンの収穫、実りの森草刈りなど。

12 月４日（木）晴れ　66 名

アダプトプログラム実施。エコＧの協力を得て芋煮会を行う。

里山Ｇは薪玉置場の整備、竹の切り出し運搬、No.19 区画の下草刈り、シイタケ収穫、薪割り。エコＧはネギ、大根などの収穫、サツマイモ堀り、玉ねぎ苗の植え付け。景観Ｇは四季の丘付近の竹林整備とアダプトプログラム。花班はジャーマンアイリス花壇の草引き、芋煮会手伝い。ビオ班は西池湿地の葦の刈り取りと片付け。パトロールＧはアダプトプログラム、観察路２コースのパトロール、エントランス花壇の改修と花植え。果樹Ｇは芋煮会準備、ブルーベリーの畝の戻し、草刈りなど。

12 月 11 日（木）晴れ　61 名

豚汁提供開始。

里山Ｇは No.４区画の榾木用コナラの伐採、シイタケの収穫と薪割り。エコＧは大根、レタス、ジャガイモなどの収穫、ポットに種まき、自然農園の土作りと小松菜などの移植。景観Ｇは四季の丘の竹林と真竹林の整備。花班はジャーマンアイリス花壇の草引き。ビオ班は果樹Ｇの見学、ビオエリア内の溝掃除など。パトロールＧは観察路３コースのパトロール、桜山の草刈り、階段修理、Ａ地区の杭直し。果樹Ｇは講習会（梅の剪定）、山芋の畝作り、レモンの木に納豆菌散布など。

12 月 18 日（木）　晴れ　71 名＋近大生１名

ダッチオーブンで焼いた焼き芋を提供。

里山ＧはNo.４区画のコナラの伐採、門松用材料準備（竹、松）、薪割り、シイタケの収穫など。エコＧは大根、ジャガイモなどの収穫、鹿よけネット用の竹の準備、サツマイモの保存。景観ＧはＢＣ西側の竹林整備など。花班はジャーマンアイリス花壇の草引きなど。ビオ班は近畿大学の田貝定期調査、湿地の土手の修理、睡蓮池の泥上げなど。パトロールＧは観察路１コースのパトロール、桜山の笹草刈り、Ａ地区入口の橋の設置（完了）。果樹Ｇは橘、甘夏の収穫、梅の剪定、実りの森草刈りなど。

里山の今

里山グループ

蕎麦文化クラブ活動

寺野　金三

さて、私は里山グループ・蕎麦クラブにも参加していますが、今回は蕎麦文化クラブについての思いを書こうと思っています。

クラブに入って約４年が過ぎ５年目に入り、そば打ちの魅力にはまっております。

結構な時間をかけて楽しんでおります。私の活動への考え方と合致しており、無理をせず・楽しく・安全に。

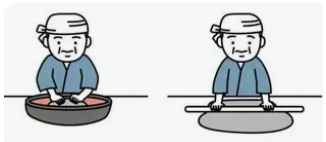
安全は今回は当てはまりませんがとにかく「楽しく無理をしない」。そば道具も少しずつではあるが購入し、我が家でもそば打ちが出来るスペースも作り、月２回ほど打つことが出来ております。

さて当初は基本から学ぶ事が出来ず、本当に残念な思いをしました。コロナです。

2021 年から 2023 年の間参加できず、思うように打つことが出来なかった時期がありました。やっと 2025 年に入ってから自分なりの打ち方が出来るようになりました。すると今度は蕎麦クラブと自宅とで打ちますので、在庫が溜まり、消化する必要が生まれました。友達・家族・隣近所にそして妻も。妻とはそれこそ１週間に何回も食べていますし、文句も言わず試食してくれています。

さて、今はいろんなこともありそば打ちを楽しく・無理をせずゆっくりと打とうと思っています。

美味しい蕎麦食べたいです。



果樹グループ

果樹Ｇの鹿や粘土質対策

阿部　和生

第５地区と呼んでいたおよそ 2ha のうち果樹グループで活用に着手しているところは広い南①、中②の半分、北③の３ヶ所、約 3300 ㎡でしかありません。それでもその維持管理と果樹の生育に大変な手間・暇をかけてきました。

イチジク、キウイ、ユズ、梅、柿、栗、八朔、ミカン、橘、など様々です。幼苗のころ鹿に食害されその対策に試行錯誤、昨年度設置の鉄格子を併用した防御柵でようやく一段落していますが、キウイのところは未完成です。

この地区の初期はそば畑でしたが、果樹へと転換、ブルーベリーやレモンも育ち、収穫の時期はとても楽しいものです。

①　地区、③地区には　表土下の粘土質排水改良のため溝を作り、竹材を埋没させ埋め戻す、大変な作業を施しています。メインの①地区の一部はさらに表土を 15ｃｍほどはぎ取り台状の植床をつくり一層の根腐れ対策を施しています。刈り取った草の一部は柵を作り堆肥作り、牛糞その他と混ぜて熟成、有機肥料として地質改良に使用しています。

今年レモン、ジャンボレモンはよく実を付けました。無農薬・安心して皮ごと利用できる優れものです。これらも粘土質を克服し排水対策がうまくいった工夫の賜物です。②地区のキウイはまだ工夫を加え収穫後の剪定に進めるよう力を入れます。イチジクは防鳥対策完備、来年度楽しめることでしょう。

令和７年度　そば文化クラブ
新そば祭りレポ

豊田 治代

皆さま、新そば祭り楽しんでいただけましたでしょうか？ 担当者一同心を込めて作った品々、お口に合いましたでしょうか？

11 月 27 日、BC で「新そば祭り」が開催されました。新蕎麦の文字が誇らしげにはばたき絶好の蕎麦打ち日和です！ 平成 22 年から古川会長、寺田さん、太田さんたちを中心に、田辺先生のご指導の元、続いているそば文化クラブ、毎月の研鑽の成果をご披露させていただく会員たちの晴れ舞台です！ そばクラブメンバー全力参加で、打ち立て茹で立てのピカピカのお蕎麦を召し上がっていただこうという趣向です！ 釜の火加減、茹で時間に細心の注意を払い水で洗い、氷水で締めて提供する！ 数分間の勝負！ ワクワクドキドキの連続です！

朝から設えた蕎麦打ち台では、そばクラブのメンバーたちが皆さんの応援の元、次々とデモ打ちをご披露しています。千載会長にも飛び入り参加していただきました。

当日の献立は、茹で立て蕎麦に大根おろし、ネギ、柚子を乗せたぶっかけ蕎麦、揚げたてのかき揚げをそえて！ 加えて、蕎麦の実香る御出汁のお粥、池山さん特製の大根葉のふりかけ、茄の辛子漬け等々の箸休めと共に！ 串刺しのピリ辛玉蒟蒻、エコグループ収穫のさつま芋を冨井さんを中心にダッチオーブンで焼いていただいたならやま名物ホクホクの焼き芋、もぎたて富有柿のデザート！ 秋の味覚のフルコースです！

これだけのお料理を提供させていただくために、大勢の会員の皆さまに応援をいただきました。当日、調理、盛り付け、接待の全てをエプロン、バンダナ姿で担っていただき、本当に感謝、感謝です。和気あいあいの雰囲気の中、経験豊かな皆さんの手で約８０人前のおそばの薬味、蕎麦つゆ、かき揚げ、蕎麦粥、焼き芋、デザートと次々に作り上げていただきました。

“お食事のご用意ができました！ ”の掛け声でお食事会のスタートです。打ち立てのお蕎麦って本当に美味しいなぁ、コシが有って最高！ かき揚げパリッと揚ってて美味しい！ 蕎麦粥プチプチしてて美味しい！ 沢山の美味しいをいただきました。

皆さまの“美味しかった～ ”の中、新そば祭りを無事に終わらせていただきました。イベントにかかわっていただいたすべての皆さま本当にありがとうございました。とっても疲れたけど本当に楽しい一日でした！ ならやまバンザイ！ 新そば祭りバンザイ！

月例研修会レポ

晩秋の龍田古道・
亀の瀬地すべり歴史資料室見学

有元 康人

12月2日（火曜日）、気持ちの良い秋の日差しの中の月例研修会になりました。

参加人数は24名、全員が定刻9時にJR大和路線・河内堅上駅に集合。

今回のボランティアガイドは、会員で地元にお住いの杉本さんにお願いしました。

冨井さんから、今日の予定の事前説明と杉本さんによる龍田川古道由来の和歌（万葉集）の紹介、その和歌を杉本さんの音頭で歌い、亀の瀬地すべり現場の見学に行きました。

この地の地すべりの歴史は、亀の瀬の北方にあったドロコロ火山が数百万年前の２回の噴火で、元の地層上部（粘土層）のすべりやすい層の上に荷重の大きい溶岩が乗り、地殻変動で大和川に向かった斜面の土地が形成され、大和川に向かって地すべりが続いてきました。

驚きは、４万年以前からこの地すべりが確認されており現代まで続いていることです。

近代では、明治36年の地すべりで、大和川を土砂が塞ぎ、王寺地区から三郷辺りまで氾濫し、昭和６年から８年の災害では、３2haの土地が大和川に向かって、30m移動、大和川の河床が9m以上隆起し、その時の水害で王寺町は８か月間も水没したそうです。

対策工事は昭和37年から令和３年まで続きました。直径6.5m深さ100mの杭が地すべり箇所全体に及び、さらに雨水の集水設備など大規模な対策が行われていました、国の治水事業への取り組みに奈良県の住民として感謝、感謝。

大和川の舟運の安全を守っていた『竜王社』の横で昼食をとり、食後杉本さんによる万葉集の説明を聞き、和歌を歌って龍田古道を進みました。

万葉人と同じ道を奈良に向かって難波と大和の国の国境にある『峠八幡神社』地すべりの現場でもある坂道を登りました。

峠を越え、歌碑の残る『磐瀬の社』で鏡王女が歌った『甘南備　磐瀬の社の　呼ぶ小鳥・・を歌い最後の見学地龍田大社に着きました。

龍田古道の信仰上の中心で、都の西を司る国家的な風神として祀られていた大社。

４万年前からの地殻変動の難所『亀の瀬・龍田古道』を行く万葉人（天皇から庶民までが歌った心を打つ歌）が残した思いの和歌、それを歌う今回の例会、最後に三郷駅前で高橋虫麻呂の歌碑『我が行きは　七日は過ぎし・・・の歌を全員で歌い解散、例会が事故もなく無事に終了することができたのは、参加の皆さんや今日のコースの文化財を、奥深く説明して頂いたガイドの杉本さんのおかげです。

ありがとうございました。

芋煮会レポ

福田　美伸

12 月 4 日芋煮会が開催され、参加会員数は 66 名でした。

材料の里芋（名前は伊予美人）は 240 個、エコの男性 7 人と私で皮を剥き 1 時間以上もかかりました。私は 30 個皮を向いた結果、手が痒くなりました。

芋煮の具は大変シンプルで里芋、牛肉、こんにゃく、人参、ネギ、椎茸でした。

女性は里芋とサツマイモの２種類のコロッケ、およびサツマイモのサラダと大根の塩もみと大変なメニューを作っていただきました。さらにサツマイモの焼き芋も作りました。芋煮は大変美味しく、伊予美人がおいしこともありますが、池田さんの味付けが抜群であったと思いました。芋煮が余りにも美味しく、全員何杯もお代わりしたと思います。素晴らしい芋煮会にしていただいたスタッフ、エコファームの皆さんに感謝いたします。来年も是非、是非！！

ちなみに、日本一の山形の芋煮会の具材はさらにシンプルです。美味しい里芋、こんにゃく、太いネギ、豚肉または牛肉のみで調味料は醤油、清酒、出し汁、砂糖で芋または肉の味が主であるようです。よって、里芋と肉は大量に入り、汁は少なく、私たちの芋煮は山形県に近いようです。

里芋は東南アジア原産でタロイモ類の仲間で、日本には稲作よりも早く伝わったといわれており、縄文時代には主食になっておりました。

特徴はねっとりし甘い。親芋、小芋、孫芋と子孫繁栄の象徴とされ、正月に食べられます。食べる量は 1 日に小芋で 2 個以下が良い、たくさん食べると下痢を起こすと書いてあります。

とても美味しい芋煮でした。スタッフ、エコファームのみなさんありがとうございました。

入会して 10 年

山本 美智子

池田敬二郎、富子ご夫妻に勧められ、2014 年 3 月に入会しました。

2025 年 1 月に 10 年継続会員の一人として「フェイジョア」を希望して、記念植樹をさせていただきました。これまでの活動の日々が走馬灯の如く巡り感慨深いです。

一年目は花グループへ。当時、西谷リーダーの下、熱心さと厳しさで鍛えられました。よい思い出です。現在、山野草園と藤棚がありますが、当時、あの付近を掘ると、不法投棄されたポリ用品、ナイロン、金属物の残骸が続出。「ここ掘れワンワン」の意地悪婆さん版でした。掘り返して腐葉土や堆肥を入れ、土づくりをしました。緑陰広場のアジサイの植え付けの時も固い土を入れ替え 1 本 1 本、挿し木で根付いた幼木を丁寧に。今では剪定しても私たちの背丈より高く育ち、花色とりどりに美しい生垣になっています。丈夫に育ち、花を咲かせてと願いながらの活動は楽しく、嬉しいものでした。

しかし、その作業の殆どが下肢を曲げてしゃがむ姿勢の為、右下肢に故障のある私はとうとうギブアップ！　後ろ髪引かれながら、敢えなく一年程で花グループを脱落。

もともと植物が好きで興味があり、歩くことには支障がないので二年目にはパトロールグループへ参加。グループリーダーや仲間の皆さんのお陰で只今も楽しく活動中。

最初の 5～6 年は元気いっぱい。観察路の整備、保全、杭や丸太づくり、草や笹刈り、希少植物の保護・観察、木々への名札付け。夏の暑さも冬の寒さも何のその。ならやまの自然の中で好奇心満載の私は知る楽しみや喜びに夢中になりました。

人と自然の大切さ、身近な植物を細かく、深く観察するおもしろさや不思議の中であっという間に 10 年が過ぎてしまいました。

そんな経験を足がかりにならやまのイベント、観察会、小学校への学習支援などに参加。

自然の関わりが希薄になりつつある子どもたちに、少しでも身近な自然に目を向けてくれるきっかけになれば・・・と勤しんでいます。

10 年近く前、第一皆伐地で子どもたちがイベントで植樹した「コナラ」が、大きな茂みになっています。「手を入れてこそ」が里山なのですが、人もならやまの自然も変わってゆきます。この 10 年とこれから先を考えると「人と自然の会」という船はどういう港へ向かえるのか。

活動の平均年齢も高く、会員数減少もあり、運用面での経済的な先行きなど、いろいろ危惧することも出てきます。

私自身、傘寿を過ぎ、気力、体力減少中なれど、ならやまの自然とここに集う仲間に魅せられて、体が動く間は、ここへ通って来たいと思っています。会の運営の為、公私ともに重責を担ってくださっている幹事、役員の皆さま、深く深く、感謝の一念です。

入会して 10 年、皆さまありがとうございました。そしてもう少し、これからもよろしくお願いいたします。

きょうみ　森森

このコーナーは、会員の紹介をいたします。仲間の新たな魅力をお伝えするものです。

今回は、野原純子　さん（2025 年入会）

今、注力していることは、2001 年から継続している「NPO 法人国際交流ならふれあいの会」の活動です。アセアン 11 か国、米国、欧州からの来寧を受け入れ、転勤で夫は石川・大阪・韓国、私は豪州・英国・独国・メキシコへの渡航を含め世界を巡り活動中。

日本、東アジアから世界の文化・芸術・歴史に興味津々の生涯です。

居間には大きな世界地図があり、年中人が来られ、「mi casa tu casa」（私の家はあなたの家）で寛いでくださいます。

好きな風景は、山も海も夕日がきれいに見える場所です。心に残る特別な場所は、アメリカ西海岸です。美しさのあまり、沈む夕日を追いかけました。

アメリカ西海岸の夕日

愛読書は、ダライ・ラマ法皇 14 世の「慈悲の心」です。他にも偉人伝や日本史も好きです。

尊敬する人は、父役を兼ねた今は亡き母（９７歳他界）です。

子どもの頃、若狭湾や神鍋に毎週アウトドア、スキーの経験をしたことは一生の思い出です。５人の娘に愛情を注いで育ててくれた逞しい母、あぁ会いたいなあ…

野原純子さんの柔和な中にも、未来の平和を見据えた眼差しをご覧ください。

奈良を発信源として世界に目を向け、お若い頃から歴史、文化、芸術を通して多くの人々と交流を重ねておられます。山百合の花言葉のように荘厳さと飾らぬ美と愛を秘めて、人生を楽しみながら活動しておられる姿に感動します。

昨年の大阪関西万博会場でも、持ち前の語学力を活かしてボランティア活動をなさったそうです。

子どもの頃の懐かしい思い出は、舞台や音楽会や美術館、博物館に家庭教師の先生に連れられて行ったことです。

また、私が 10 歳の時に父が天国へ。絵をかいたり遊んだりした記憶もいっぱいあります。

私の好きな花は、山百合です。

＊野原さんお手製の山百合のスタンド
山百合の花言葉は、「荘厳」「人生の楽しみ」「飾らぬ美と愛」

好きな歌は、「３６５歩のマーチ」です。「幸せは、歩いてこない。だから歩いてゆくんだよ～」…この歌には励まされました。

好きなスポーツ観戦は、野球、バスケ、水泳、陸上で、どれも実況を観る方。ライブも TV でも楽しいです。

海外ボランティア体験記
パナマ-1（2003.4～2005.3）

木村 裕

2002 年 3 月にパラグアイから帰国し、5 年間にわたって庭を占拠していた雑草を追い払って庭をなんとか見られるようにしてほっとしたのが夏。海外生活での楽しさが忘れられず、秋の JICA（海外協力機構）のシニアー海外ボランティア募集リストで、うまいことにスペイン語圏のパナマでコーヒーの病害虫の専門家を募集していたので、コーヒーはよく知らないが病害虫なら応用が可能かと思って急遽応募。幸いにも 2003 年 4 月からの派遣が決まったが、パラグアイではワイフには苦労をかけたので今回は単身赴任。

2003 年 3 月に約 1 か月間、パナマに派遣されるボランティア 8 名（任地や派遣先は異なる）とともに派遣前研修（現地生活に関する予備知識と語学の研修）を受け、かついろいろな予防接種をいっぱいして 4 月 1 日にパナマへ。直行便はないのでアメリカのヒューストンで一泊し 4 月 2 日にパナマに到着。

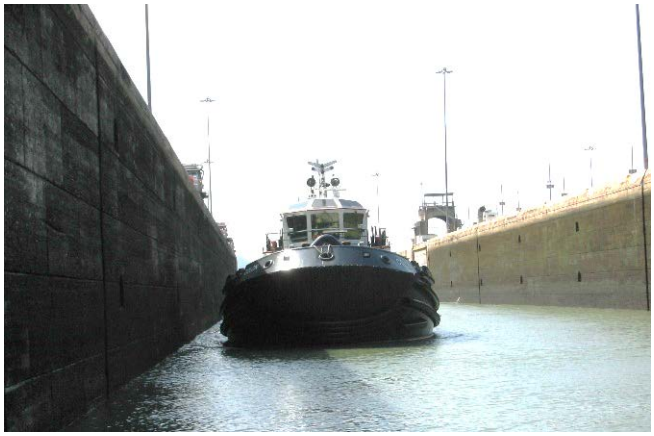
我々の旅行を手配してくれた旅行会社は優秀？で、預けた手荷物はそのままアメリカをスルーしてパナマまで直に届くことになっていたにも関わらず、連絡不十分でひと悶着。なんとか空港で預かってもらうことになったが、食料品を持っていると申請したので植物検疫にまわされ、荷物を開いて検査を受けることになった。旅行会社のアドバイスにしたがって正直に申請したのがアダとなりました。

私たち日本人からみると、パナマは北アメリカと南アメリカをつなぐ細くなった所にゴチャゴチャと連なる中米の小さな国々の一つとしての認識だと思います。

地理的には北緯 10 度近辺、すなわち北半球の熱帯圏にあり、面積は 75,416 km^2（日本の約 1/5）、東西約 1000 km、南北 50～80 km、細くなった中央部をパナマ運河が横切っています。国の中央を東西にロッキー・アンデス山脈が連なり、最高峰はボルカンバルー（海抜 3475m）です。山脈の北側はカリブ海、南側は太平洋の影響を受け、雨季（5 月～12 月中頃）と乾季（12 月中頃～4 月）があります。雨季には毎日雨が降り、乾季にはまったく降りません。現地では、乾季のことを夏季と呼びます、雨季は冬季ともよばれ、毎日雨が降りますので外を歩いても焼けつくことはありませんが湿度はかなりのものとなります。

パナマは 10 の県と 6 つのインディオ（先住民）自治区からなり、メスチーノ（インディオとスペイン人の混血）が 70%、インディオが 10%です。

今回の任期中は携帯電話が広く普及し始め、私たちボランティアにも支給されました。しかしネット環境は電話線を使用していたので、容量の大きいものは送れませんでした。カメラはデジカメが普及し始めていましたが、大型カメラではまだまだフィルム全盛でした。



新ならやま投句箱

俳句

枯草を燃やす畑の白い煙（けむ）　藤原　勲
北風や負けるものかとペダル漕ぎ　菊川　年明
惜しみつつ庭木伐採年の瀬に　阿部　和生
パソコンで新年の運天仰ぐ　羽尻　嵩
冬枯れに白木蓮の芽柔らか　小島　武雄
生命（いのち）燃す仲代達也赤秋（せきしゅう）に　坪井　都子
落ち葉蹴る幼子の顔まつげ濡れ　近藤　結美
木守柿指さす子等に烏啼く　古川　祐司
いつしらに傘寿を過ぎし冬日和　山本　美智子
目覚めれど布団の中の冬の朝　國方　まりこ
風乱す金木犀の香りかな　吉田　英子
ブランコや天まで上がれ秋の空　寺田　孝

短歌

来る年に秘めたる胸の鼓動かな
　夢追いかけて明日の架け橋　谷川　雅邦
日曜の黄色に映えるもみじ見て
　マーマレードをパンにぬりたし　内河　洋文

新ならやま投句箱への投句有難うございます。今後ともよろしくお願いします。

みなの弔辞誰がよむと
　心配せる友先に逝く　足立　勝洋
東大寺奈良マラソンに演奏会
　師走の町を熱気が包む　戸田　博子
ならやまのゴミ捨て場にて拾いしは
　椿のつぼみ我が家で開き　清原加代子
ほろ酔いに年越しそばをすする音
　しみじみ思う普通の幸せ　千載　輝重
大釜で打ち立て蕎麦を躍らせて
　ベースキャンプで至福の宴　豊田　治代

川柳

長生きで古希の手習い大流行（おおはやり）　奈良の太公望
茫々の卒寿に何を忘年会　柳　児
時流れ万博・阪神遠い過去　トラ吉
レモン柚子蜂蜜漬けで風邪予防　明るい未来
春と秋ふた粒おいしい桜かな　博　郁
ふわ丸の冬毛に手のひら温める　たけちゃん
うちたてているよいつまでもきみのそば　甘えん坊

次号締め切り　二月二十日　投稿先　田中善英

行事案内

新春講演会と懇親会のご案内

新しい年を迎え、下記の通り、新春講演会と懇親会を開催します。

講師は果樹グループの果樹栽培を指導していただいている新田晴行さんです。新田さんは奈良県の農林事務所で農家の果樹栽培、生産の指導をされた、果樹栽培のエキスパートです。

当会は更なる果樹栽培技術の向上を目指して、JA 奈良県に指導者の紹介をお願いし、奈良県北部農林事務所に相談しました。その結果、奈良県職員 OB の新田さんに指導をお願いすることになりました。新田さんは当会の活動もご存じで、快く指導を引き受けていただきました。

現在、ならやまで果樹栽培、生産について現地で指導をいただいています。

今回、「くだもの作りへの手引き」というテーマで、果樹栽培の現状と果樹の育て方などについてお話をいただく予定です。ならやまでの指導を通じて気がついた事、今後の方向性などについてもアドバイスをいただき、今後の活動の指針としたいと期待しています。

講演会の後、新年会を兼ねた懇親会を予定し、活発な意見交換も出来ればと思っています。奮ってご参加いただきますようお願いします。

記

1.日時　令和８年１月 17 日（土曜日）
2.講演会会場：中部公民館　第四講座室
3.講演会スケジュール
　13：00　開場（受付開始）
　13：30　講演
　15：00　懇親会会場に移動
4.懇親会
　・場所　：　一条・新大宮本店
　・スケジュール　：　16 時　開宴

担当幹事：内河、山上、田中

奈良学クイズ

【B】

【A】

左と上の写真のような特徴のある狛犬がある奈良市内の神社名をお答えください。

問①　【A】雌雄の狛犬のうち、雌獅子の胸元には乳を求めて慕い寄る子獅子が。全国的に珍しい母子獅子は「子授けの□□の宮様」として信仰を集め、子宝を願う参拝者を迎えてくれます。

問②　【B】正岡子規の「奈良坂や石切る家の秋の風」「藪陰に石切る音の朝寒し」が東大寺・転害門の門前にあった石工の仕事場から聞こえてくる作業の音を題材にした句ではなかったかと推論した論考があります。その石工によって制作された狛犬の代表作に数えられているのが、写真のような笑顔の狛犬です。

問③　「脳トレ」クイズです。次の八文字の漢字を合体させると有名な寺院名になります。お答えください。

(例)　ト　人　一　一　一　・・・・・　天下
(問題)　ノ　一　口　L　土　人　一　寸

【解答欄】
問①　(　　神社)
問②　(　　神社)
問③　(　　)

【応募要領】
締切日 ： １月４日(日)
記念品 ：クラフト作品
応募方法 ：Mail

2025 年 12 月度 幹事会報告

開催日：11 月 25 日

Ⅰ．会計・総務より
・会員動向：会員数 128 名（家族会員 13 名）
・会計：運搬車などの動力機器の修理が重なり支出は予算を大幅に超過する見込み
各Ｇは予算内を前提に無駄な支出のないように）

Ⅱ．活動・行事に関する議題・懸案・確認
1．３ヶ月スケジュール検討・確認
・1/8 初出式、10 年継続会員表彰：３名
2．ならやまプロジェクト関係
・1/8 初出式：例年通り餅つきを実施する。
植樹はフェイジア（12/27 入荷予定）
3．イベント関連
・11/8 芋掘りイベント：順調に推移。
・11/15 こどもゆめくらぶ（芋掘り）：足首の捻挫事故があり、湿布冷却で対処
・11/20 秋の自然観察会：25 名参加
・12/4 芋煮会：里芋中心に提供
・12/23 忘年会：幹事会後、15：30 開始
・1/8　初出式、10 年継続会員記念植樹
・1/17　新春講演会と懇親会

Ⅲ．助成金関係
・進捗状況、申請状況確認

Ⅳ．特定議題
・２年毎の幹事改選期の為、案内書を送付

Ⅴ．広報関係
・会報誌の編成、執筆者の確認

Ⅵ．報告・連絡事項、その他
・月例研修会：龍田古道（亀の瀬）（12/2）
・自然観察会：佐保川小学習支援(11/17)
小学校校庭で実施済み
・シニア進路ガイダンスは今回不参加
・草刈り講習済みの人から実習希望あり
・ロープワーク（ひも結び）の講習希望あり

次回 12/23（火）中部公民館 13:00～

会のキャッチフレーズは「明るく楽しく無理をせず・・・」ですが、「無理をせず」に違和感がありませんか？ならやまで活動していても、いつも「ハアハア」といっている自分がいます。鼻歌気分で軽々と出来るのが「無理をせず」ではないのかと。それなら、ずっと「無理している」と思いませんか？

ある日、新聞を読んでいたら、「サメテガル」という言葉をみつけました。フランス語で、直訳すると「それは私にとって平気だ」、実際には「どっちでもいい」という意味だそうです。自分流に解釈すると「頑張らなくていい」ということでしょうか？ 新聞には歳をとったら「サメテガル」、「決めることから卒業したら」と書いてありました。

実生活では物事はどっちか一方に決めなくてはいけない事ばかりです。決めるから頑張る。でも、ならやまにいて、自然を相手にすると、人間が決めてもその通りにはならないことが多いです。それなら「サメテガル（どっちでもいい）」と思ってもいいはず。「ハアハア」いうのは体が「マイペース」でと言っているだけ。

自然と共に「無理をせず」でノンビリが一番。
ならやまでサメテガル??

****

２月ならやま活動&行事予告

＊ならやま活動 2/5 協働活動日
2/21（土）椎茸イベント　予備日 2/22（日）

会員動向（敬称略）
＜入会者＞ 12/18　多田 直史

発行：奈良・人と自然の会
URL ： http://www.naranature.com
編集代表 Mail: editor@naranature.com
編集委員：青木（幸）・尾崎・柴田・千載
田中（善）・戸田

表紙写真：会員有志の干支人形が勢揃いです
（2026 年、空に向かって走って行こう）